

団 体 名	谷仲山緑地を守る会
代表者名	笹木延吉
連絡方法	事務局 佐々木徹 TEL:080-5409-5207 E-mail:kaitakaken@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	谷仲山緑地は、神明上土地区画整理事業により公有化された、主に日野台地の北斜面の雑木林です。しかしその後、人の手による管理がほとんどされていない状態が続き、貴重種の野草たちが細々と生息していました。そこでボランティア活動によりこれを明るく健全な雑木林として管理し、野草たちを保護育成し、この自然環境を市民の皆様に公開することを目的に、2016年5月「谷仲山緑地を守る会」を立ち上げました。
設立年	2016年
主な活動内容	カタクリを保全し明るい健全な雑木林に ①雑木林の育成・維持・管理に関する作業 ②植生調査と植物の保護 ③カタクリ等の野草観察会の実施 ④環境学習の開催 ⑤他ボランティア団体との交流
主なフィールド	谷仲山緑地(神明第3緑地、神明第5緑地、神明第6-1, 6-2緑地)
活 動 日	第3日曜日 午前9時30分～15:00まで
会 員 数	14名
募 集	常時
そ の 他	会費 2,000 円/年(ボランティア保険込み)
団体の課題 (複数回答可)	☒ 人員不足 ☒ 会員の高齢化 ☒ 活動資金不足 ☐ 団体の周知 ☐ その他()
自由記載	日野市とのパートナーシップ協定の締結 日野市と谷仲山緑地を守る会は、谷仲山緑地等を市内に残された貴重な動植物の生育環境が維持できる樹林地として位置づけ、カタクリ等希少生物の生育環境を維持・保全し、生物多様性に配慮した活動を進めていくこととしました。これに基づき、2022年、両者は協力・連帯して「谷仲山緑地の管理・運営に関するパートナーシップ協定」を締結しました。この協定締結により私達の思いが次世代に引き継がれますように!! 今日までの私たちの地道な活動により、第3緑地はカタクリやキツネノカミソリ、第5緑地はニリンソウ、そして第6緑地ではニリンソウやハチオウジアザミなどの野草たちの大群落がみられるようになりました。また第6緑地の湧水(水辺のある風景日野50選のひとつ)付近では6月初旬ごろ淡いホタルの光が!!

谷仲山緑地の野草・樹木



エリザンシスミレ



フイリハグロシスミレ



ナガバノシスミレサイシン



ハチオウジアザミ



ツクバトリカブト



キツネノカミソリ



タカオヒゴタイ



アブラチャン



ヤマトアオダモ



コクサギ

～谷仲山緑地とは～

谷仲山緑地は、昭和41年に始まった日野市旅行の神明上土地区画整理事業により民有地の雑木林が緑地として公有化された、主に日野台地の北斜面の緑地です。しかしその後、人の手による管理がほとんどされていない状態が続き、貴重種の野草たちが細々と生息していました。

そこでボランティア活動によりこれを明るく健全な雑木林として管理し、野草たちを保護育成し、この自然環境を市民の皆様に公開することを目的に、平成28年5月「谷仲山緑地を守る会」を立ち上げました。

7年目（令和5年）を迎えた私たちの地道な活動により、第3緑地はカタクリやキツネノカミソリ、第5緑地はニリンソウ、そして第6緑地ではニリンソウやハチオウジアザミなどの野草たちの大群落が見られるようになりました。また第6緑地の湧水（水辺のある風景日野50選のひとつ）付近では6月初旬ごろ涼しいホタルの光が!!

～一緒に活動してみませんか～

私たちは、ボランティアとして明るく楽しく活動し1日を有意義に過ごすことの幸せを感じています。

活動場所：神明上第3・5・6緑地

（日野市日野本町3-6-1ほか）

活動内容：萌芽更新、粗朶作り、下草刈り、カタクリ等の野草保護、カタクリ祭（3月下旬）、ホタルの観察（5月下旬から1か月）

活動日：毎月第3日曜日、9時半～15時

集合場所：谷仲山地区センター

年会費：2,000円（ボランティア保険込み）

連絡先：代表 笹木延吉 電話 090-6029-1811

副代表 立川綱代 電話 042-584-5369

2023.03製作 佐々木徹 電話 080-5409-5207

谷仲山緑地を守る会



明るく健全な雑木林を次の世代に!!

【神明上第3緑地のカタクリ祭】今まで滞っていた雑木林の管理（下草刈り、萌芽更新など）を進めるうちに、カタクリの群落が毎年少しずつ増えてきました。そこでこの貴重なカタクリを市民の皆様に観察していただき、自然を守ることの大切さを共感していただきたく、開花期である3月下旬の1週間ほどイベントを張り、写真等を展示したカタクリ祭を開催し皆様のご案内をしています。



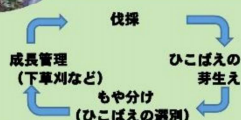
【日野市とのパートナーシップ協定締結】日野市と谷仲山緑地を守る会は、谷仲山緑地等を市内に残された貴重な動植物の生育環境が維持できる樹林地として位置づけ、カタクリ等希少生物の生育環境を維持・保全し、生物多様性に配慮した活動を進めていくこととしました。これに基づき、令和4年、両者は協力・連帯して「谷仲山緑地の管理・運営に関するパートナーシップ協定」を締結しました。この協定締結により私達の思いが次世代に!!

谷仲山活動エリア・アクセス

日野駅から、第3緑地5分、第5緑地12分、第6緑地13分、湧水16分
（いづれも駐車場はありません）



【萌芽更新】放置されたままの大木を、秋から冬の間、木の活動が休まる時期に伐採します。切り株からヒコバエと呼ぶ新芽が出てきて、世代交代（萌芽更新：右図）が進みます。



【雑木林の保全と管理】昭和30年代以降の燃料革命等により、雑木林には昔のような薪炭材、農用林としての重要な役割がなくなりました。それまでは薪や炭、畑に入れる落ち葉、農具や生活用具、食料にいたるまで、生活に必要なものを雑木林からまかなっていた暮らしがありました。そして雑木林は、人の手が入ることで豊かな自然のバランスが保たれていました。雑木林は手入れを怠ると、数年で藪になり、生物多様性もなくなります。下草刈りや萌芽更新作業など私達ボランティアの努力で健全な雑木林を継ぎの世代につなげましょう!!

【草刈り】ササは放っておくとどんどん高く育ち、他の植物が入り込む余地がなくなってしまいます。草刈りを定期的に繰り返すことで草地全体の草丈が低く抑えられ、植物の多様性が保たれます。



【粗朶（ソダ）作り】木を1本伐採すると多くの枝を整理しなければなりません。斜面の土留めもかねて、杭を打ち、そこに適当な長さに切りそろえた枝（粗朶）を積み上げていきます。

